

三井泉先生の定年退職にあたって

経済学部長 手塚 広一郎

三井泉先生は、令和4年3月末に日本大学経済学部を退職されました。平成16年4月より通算で18年にわたって本学部において教授として勤務されました。先生のこれまでの多大なるご功績に対して敬意を表し、ここに三井泉先生退職記念号を謹呈いたします。

先生は、昭和32年のお生まれです。昭和55年3月に青山学院大学経営学部をご卒業の後、平成元年3月に青山学院大学大学院経営学研究科博士課程を修了されました。昭和61年4月から平成元年3月まで日本経済短期大学の専任講師をお勤めの後、平成元年4月より平成5年3月まで福島大学経済学部に助教授として赴任されました。平成5年4月からは、帝塚山大学経済学部助教授、同大経営情報学部助教授となりました。平成10年4月に帝塚山大学経営情報学部の教授に昇格し、平成16年3月まで勤務されました。そして、平成16年4月より日本大学経済学部に教授として着任されました。

日本大学経済学部では、経営学をはじめとして、専門研究(一)・(二)、卒業論文などの学部の科目をご担当されておりました。特に、令和2年からは新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンラインによる授業を余儀なくされました。なかでも先生のご担当の経営学は受講生の数が多いにもかかわらず、学生のためにご尽力をいただきました。大学院でも、博士課程研究指導をご担当するなど、後進の育成にもあたられております。

研究については、経営学分野での数多くの研究業績を出しています。それに加えて、学会運営にも積極的に参画されており、経営史学会の副理事長をはじめとして、経営哲学会の常任理事、日本経営学会幹事などを歴任しています。さらに、学内の管理運営面でも、産業経営学科主任、研究委員会委員長、図書館長、産業経営研究所長などを歴任し、経済学部の運営に大いに貢献しております。

三井泉先生は、このように教育面、研究面、管理運営面に優れた功績を持っております。それらは、明るくて人情味にあふれ、それでいてとても細やかなお心遣いをされる先生のお人柄によるものと確信しております。私に対しても折に触れてお声がけいただき、何かと気にかけていただきました。このようなお人柄が、数多くの後進の研究者を輩出したことにもつながっている、と考えます。

最後になりましたが、三井泉先生の長年にわたる学恩とご功績に重ねて御礼を申し上げますとともに、先生とご家族の末永いご健勝とご多幸を祈念いたしております。